



# 福高だより

平成 23 年 4 月 25 日  
第 119 号  
発行 福知山高校

## 平成23年度 入学式

4 月 8 日(金)に平成23年度入学式が挙行されました。今年度の入学生は本校243名、三和分校農業科13名、家政科13名の計269名でした。



担任による呼名

校庭の桜が見ごろを迎える中、269名の入学生が福知山高校の門をくぐりました。新しい制服に身を包み、誰もが福知山高校で始まる新しい生活への期待に胸を躍らせていました。

## 新入生歓迎集会

4月12日(火)に新入生歓迎集会が開かれ、先輩たちが部活動の紹介を行いました。どの部も迫力満点のパフォーマンスで、会場は盛り上がりました。



迫力の書道パフォーマンス



快音響かせるソフトテニス部



ハイスピードで打ち合う卓球部



校長式辞



新入生宣誓

## 卒業生合格体験記



### 京都大学 経済学部 合格

伊東 梨香 (福知山市立南陵中学校出身)

私が合格できたのは、授業がとても分かりやすかったことと、日々の演習や宿題をやっていたことのおかげだと思います。授業はどの先生も重要なポイントを言ってくださるし、どの参考書よりも詳しく説明していただけるので、しっかり聞いておくべきだと思います。また、本格的に2次試験の対策を始める時は、どんな教科でも先生にお願いして添削していただいた方がいいと思います。特に小論文は、けっこう思い込みで書き進めてしまったりするので絶対先生に添削してもらってください。表現や文章の構成等の面から丁寧に指導して下さり、一日一日確実に合格へと導いてくださいます。

### 大阪大学 基礎工学部 合格

坂根 駿也 (綾部市立豊里中学校出身) 柔道部

合格した瞬間、本当に福知山高校に入学して良かったと思いました。福知山高校では受験に向け、12月から毎日センター演習があったり、さらに2月からは二次ゼミがあります。先生に自分の解答を添削してもらったりなど、色々サポートしてもらいました。このように試験直前でも学校で先生や友達と会い、刺激しあい励ましあうことで、最後まで諦めずに勉強することができ、合格を勝ちとることができました。

### 岡山大学 教育学部 合格

土佐 洋平 (福知山市立三和中学校出身) 卓球部

僕は高校入学前からなんとなく教師という職業にあこがれを持っていました。そして、高校に入って先生たちの姿を見て、ますます教師になりたいという気持ちが強くなり、教育学部を目指すようになりました。

高校生活では、僕は毎日の授業を大切にしました。福高の授業はレベルが高いので授業をしっかりと受けておけば十分に大学入試にも対応できます。部活動では忍耐力がつきます。受験のつらさに耐え抜く忍耐力です。今、部活動を続けている人はぜひ最後までやり切ってください。そして、地道に安定した努力を続けることを勧めます。部活動などで疲れている人もいますが、そのような日でも、家で1日1ページでも参考書をすすめるなど少しずつでも努力してください。これができるかできないかでは後々大きく違ってきます。

「成功が努力より先に来るのは辞書の中だけだ。」



**鳴門教育大学 教育学部 合格**  
**近藤 瑞希 (福知山市立桃映中学校出身) 陸上競技部**



私が一番言いたいことは、勉強や部活動を精一杯やりきった上で受験生になってほしいということです。私は「部活動で頑張れたんだから勉強もできるはず」と、自分を励まして受験の期間を過ごしました。今思うと変な話だなと思いますが、それでも私は部活動での経験を心の支えに、努力を無駄にしたくないという気持ちと、友達や先生、家族が応援してくれたおかげで最後まで頑張れました。

私は前期試験で落ちてしまい、後期試験は面接でした。私は高校生活の中で思っていたこと、経験したこと、お世話になった先生のことをそのまま話し、合格することができました。それは勉強で悩んだ経験や陸上競技部で頑張ることのできた経験があったからだと思います。この体験記を読んでいる人にも、いろんな体験をしてほしいと思います。

**徳島大学 総合科学部 合格 堀 航太 (福知山市立六人部中学校出身) 野球部**

僕は部活動をやっているうちに家に帰ってもすぐに寝てしまったりと、家での勉強時間は少なかったと思います。しかし、日々の演習や課題など最低限のことはしっかりやろうと決めてやっていました。他にも毎日の授業を大切にすることも大切なことです。当たり前のことばかりですが、こういったことを続けることで確実に力はついてきます。また、時間を有効に使ってください。勉強する時間を増やすには、何かの時間を削るしかありません。僕は夜遅くまで勉強することが苦手だったので、朝4時半に起きて勉強するようにしていました。みなさんも、もう1度自分の生活を見直してみてください。削る時間は人それぞれだと思うので、自分に合った生活スタイルを作ってください。

受験は本当に大変なものだと思います。だからこそ合格した時の喜びはとても大きいです。僕は合格が決まった瞬間、自然と涙が出てきました。嬉しさや安堵感と同時に、家族や先生、クラスメイトなど支えられた人に感謝の気持ちでいっぱいでした。

受験は間違いなく団体戦です。お互いに競いあったり助けあったりして受験を乗り越えてください。諦めなければ道は開けます。勉強や部活動など大変ですが、充実した高校生活にしてください。

**神戸大学 工学部 合格 河田 大史 (福知山市立大江中学校出身)**

今年なんとか神戸大学に合格しました。センター試験が終わった後は泣きそうになり、神戸大学受験をやめようとも考えましたが、二次試験で絶対取り返してやろうと思い、必死で勉強した結果、合格することができました。努力しても実るとは限らないけど、努力しないと実りません。諦めずに頑張ってください。



**鳥取大学 工学部 合格**  
**福家 大地 (福知山市立日新中学校出身) 野球部**

僕は本当に勉強が嫌いで苦手だったので、課題もこなしているだけでした。しかし、高3の時から少しずつ勉強をし始めました。前期試験で落ちてしまってすごくショックを受けましたが、後期試験に向け、今までやってきたことを信じて必死に勉強しました。合格した時は、本当に嬉しかったです。それと同時にこれまで支えてくれた友達やお世話になった先生方への感謝の気持ちでいっぱいでした。以前、担任の先生が「君達には勉強ではかれないものがたくさんある。その勉強では見れないところを社会に出た時に見てもらおう為に勉強するんや。」とおっしゃっていました。希望進路の実現に向けて、そして自分自身の長所や良さを社会で発揮する為、頑張ってください。

**鳥取大学 工学部 合格**  
**西原 大晴 (福知山市立北陵中学校出身) バドミントン部**

僕は勉強を十分頑張ったかという、決してそんなことなかったと思います。それでも、毎日勉強と向き合うようスケジュールを決め、勉強する習慣を無理矢理にでも作ろうと努力しました。初めは全然集中が続き、勉強する時間が苦痛で仕方ありませんでしたが、毎日計画通りに過ごしているとだんだん苦痛でなくなりました。そして、合格した時は自分でも信じられなかったです。僕が合格できたのは、周りの人達のおかげだと思います。おかげで頑張ろうという気持ちにもなれました。これから受験に挑む人には、息抜きもしつつ自分ができる限りの事を精一杯頑張ってください。

**三重大学 人文学部 合格**  
**杉本 郁子 (福知山市立南陵中学校出身)**

長い受験生活が終わるまでには、つらいことも楽しいこともたくさんありました。よく「最後まであきらめな」と言われますが、私は受験生活を終え、最後まで勉強し続けると結果はついてくるんだということを、しっかりと感じることができました。

私は国公立大学を受けるつもりだったので、全教科を頑張らなければなりません。一言で頑張るといっても、苦手な科目があったりしてなかなか思うように進まないこともありました。しかしそんな時も、自分なりに気分転換することでまた少し前へ進めるようになりました。そして、苦手な科目を少しずつ理解できるようになりました。1年生の時から勉強が嫌になることもあったけど、クラスの仲間や友達と遊んだり励まし合ったりすることで、気持ちを良い状態に保つことができ、最後まで頑張れたのだと思います。

京都府立福知山高等学校 〒620-0857 福知山市土師 650

電話番号 : 0773-27-2151

電子メール : fukuchiyama-hs@kyoto-be.ne.jp

ホームページ : <http://www.kyoto-be.ne.jp/fukuchiyama-hs/>